

黄色

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）

事業報告書



「スポーツ指導者スキルアップ講習会」～運動機能向上のためのトレーニング(高齢期)～



公益財団法人足立区生涯学習振興公社

経営方針

公益財団法人足立区生涯学習振興公社（以下、公社）は、区民に学習、スポーツ及び文化活動の機会を提供するとともに、人材の育成や自主活動を支援する事業を行うことで生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」に寄与することを目的としている。

足立区では基本構想において、区のめざすべき将来像を「協創力でつくる活力にあふれ進化し続けるひと・まち足立」としている。また、足立区教育大綱では「夢や希望を信じて生き抜く人づくり」を基本理念とし、成人期の学びについて「自ら学ぶとともにその経験を社会に還元する意欲を育てる」としている。

公社はこれまでも、区民との協働による事業を協創による事業に進化させることに取り組むとともに、学びの成果を地域に還元する事業を展開することに努めてきた。今後とも、「区民・地域・団体等との協創」により生涯学習を推進し、「生き生きとした地域社会の創造」を進めていく。

特に、子どもたちが第3の大人と出会う場、多様な体験ができる場である「あだち放課後子ども教室」では、児童期の生涯学習の場であるとともに、それを支える多くの大人の生涯学習の場でもあることから、引き続き中核事業として運営支援に取り組む。

また、学習・スポーツ・文化事業については、区民の主体的な活動を促すことを目的として、生涯学習を担う人材の育成と地域における自主的な活動を支援する事業を中心に展開し、活力ある地域社会の形成に寄与していく。

令和元年度の事業計画及び予算編成にあたっては、平成27年度に策定した「公社中期事業計画」に基づき、今後の公社職員の減員と自主財源の減少を見据え、事業の重点化と効率化を徹底するとともに、区の施策との連携を深め、事業の実施効果を上げていく。

重点事項

1 あだち放課後子ども教室の安定運営及び活動の充実に取り組む。

(1) 全校全学年実施に向けた取り組み

全校での週5日開催を安定的に継続するとともに、全学年実施校の拡大に向け運営支援と課題解決に努める。

(2) 放課後子ども教室体験プログラムの実現

「足立区放課後子ども総合プラン」^{*}を踏まえ、体験プログラムの充実及び学童保育室との連携強化に取り組む。体験プログラムの実施にあたっては、区民や団体等との協創を進め、より魅力的な活動の場への発展をめざす。特に、子どもの体力向上、読書啓発を重点課題として取り組む。

* 「足立区放課後子ども総合プラン」: 文部科学省と厚生労働省が平成26年度に発表した「放課後子ども総合プラン」を受け、区が平成27年度に策定。放課後子ども教室および学童保育事業の計画的な整備等を進めることとしており、放課後子ども教室については、全学年実施と開催日数の拡大や、校内および隣接する学童保育室との連携、体験プログラムの充実などを目指す計画
令和元年度には、令和2年度を初年度とする「新・足立区放課後子ども総合プラン」が策定された

2 学習・スポーツ・文化の人材育成及び活動支援に取り組む。

(1) 生涯学習機会の提供

地域での主体的な活動を促すための人材育成及び活動支援事業を中心に取り組むことで、学習・スポーツ・文化活動における協創力を高め、子どもから高齢者まで多くの区民への生涯学習機会の提供につなげていく。さらに、区のボトルネック的課題である貧困の連鎖を断ち切ることに資するために、児童・生徒を対象に体験機会の充実を図っていく。

(2) 学びの還元

学習・スポーツ面では、区民が学んだ成果を各々の地域や放課後子ども教室などの場で還元して様々な体験機会が広がるように、その活動を継続的に支援する。

(3) 新たな文化の創造

文化面では、“ネットワーク”と“アウトリーチ”をキーワードに、新たな文化を創造しようとする区民やアーティスト等を緩やかにつなぎ、多様な文化活動の創出を図る。

3 公益財団法人として、法令等に基づく適正な法人運営を行う。

公 社 概 要

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

設 立 平成5年2月1日（平成12年4月1日名称変更）

公益認定 平成21年10月1日公益財団法人

基本財産 15億円

代 表 者 理事長 伊藤 良久

職 員 数 42名

常勤27名（派遣6名、固有21名）、短時間再任用2名、非常勤13名

住 所 〒120-0034 東京都足立区千住五丁目13番5号 学びピア21

ホームページアドレス <https://www.kousya.jp/tokimeki/>

組織図

(決議機関)

評議員会

(監査機関)

監 事

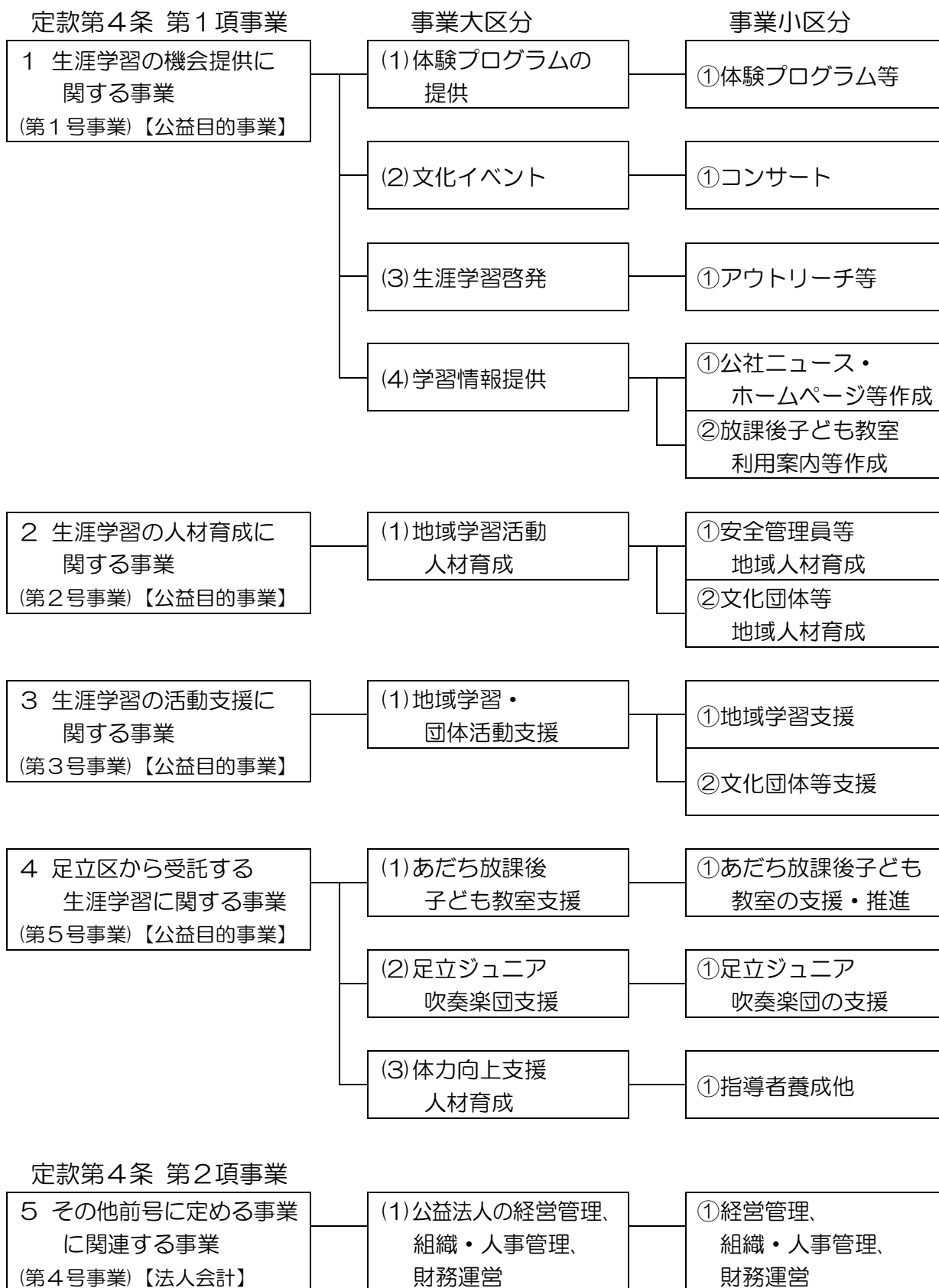
(執行機関)

理 事 会 — 理 事 長 — 副 理 事 長
(代表理事) (業務執行理事)

(事 務 局)

事務局長 $\left\{ \begin{array}{l} \text{総務部} \text{ — 企画総務課、企画調整担当課長、経理課} \\ \text{学習事業部} \text{ — 放課後子ども教室推進課、放課後子ども教室地域担当課長} \\ \text{学習・スポーツ事業課、文化活動支援課} \end{array} \right.$

令和元年度 定款事業別体系図



目 次

1 あだち放課後子ども教室事業

- 【1】 あだち放課後子ども教室の支援《区受託》…………… 8～10
- 【2】 『放課後+One』(放課後子ども教室における体験プログラム)…………… 11～14
 - (ア)地域人材活用・体験プログラム
 - (イ)団体連携・体験プログラム
 - (ウ)公社企画・体験プログラム
- 【3】 安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》…………… 15
- 【4】 新任安全管理講習会(応急手当実技)《区受託》…………… 15
- 【5】 安全管理員研修会…………… 16
- 【6】 運営委員会《区受託》…………… 17
- 【7】 ブロック会議《区受託》…………… 17
- 【8】 「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成…………… 18
- 【9】 「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成…………… 18

2 文化事業

- 【1】 あだちアートリンクカフェ…………… 19
- 【2】 あだちアートリンクカフェ 公開講座…………… 20
- 【3】 実践！アウトリーチ講座…………… 20
- 【4】 文化団体等支援…………… 21
- 【5】 イベントコーディネート事業…………… 21
- 【6】 楽団及び楽団友の会の運営支援、演奏活動の支援(通年)《区受託》…………… 22～23
- 【7】 足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援(楽器運搬)…………… 23
- 【8】 コンサートin ミュージアム…………… 24
- 【9】 小学校アウトリーチコンサート…………… 25
- 【10】 子ども未来応援アウトリーチコンサート…………… 25

3 生涯学習・スポーツ事業

【1】	あだち子どもサポーター養成講座	26
【2】	あだち子どもサポータースキルアップ講座	27
【3】	あだち子どもサポーターフォロー講座	28
【4】	あだち子どもサポーター活動支援	29
【5】	あだち子どもサポーターネットワーク支援	30
【6】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動機能向上のためのトレーニング(高齢期)～	31
【7】	スポーツ指導者スキルアップ講習会《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング(子ども)～	32
【8】	健康づくり・スポーツ活動支援講座	33
【9】	地域活動支援講座	34
【10】	地域学習コーディネート事業	35
【11】	読み語りキャラバン隊によるおはなし会	35

4 広報事業

【1】	公社ニュース「トキメキ」での自主事業等情報発信	36
【2】	公社ホームページによる情報提供事業	36

5 その他

【1】	公益目的事業に対する人件費	37
【2】	その他前号に定める事業に関連する事業	37

1 あだち放課後子ども教室支援事業

《目標達成度》 ◎ … 90%以上 ○ … 70~90%未満 △ … 70%未満
--

あだち放課後子ども教室支援 経費	予算現額	245,745,000 円
	執行額	210,676,636 円

【1】あだち放課後子ども教室の支援 《区受託》 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室*1 支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	予算現額	241,105,000 円	
	執行額	206,379,237 円	
	予定回数/目標人数	実施結果	達成
	年間参加児童数(1校)	年間参加児童数(1校)	○
	10,500 人	8,938 人	

概要	各小学校の放課後子ども教室とその運営にあたる実行委員会*2への支援
----	-----------------------------------

目的	① 各小学校の放課後子ども教室及び実行委員会の安定運営を継続する。 ② 体験・交流活動の充実を図る。 ③ 全学年実施校を拡大する。
----	---

実施結果	1 放課後子ども教室運営の支援 (1) 各実行委員会への支援 実行委員会等の実施調整、スタッフの募集、スタッフへの謝礼支払い代行、参加児童の登録事務の支援など (2) 各放課後子ども教室の日常運営への支援 開催時の巡回、事故・トラブル対応、学校との連絡調整、スタッフ会議への出席、避難訓練の実施を含む非常時の対応、運営課題への助言、運営に必要な事務の支援など (3) 事業の周知 公社ニュース「トキメキ」、公社ホームページ、利用案内(P.16 参照)などにより周知 (4) アンケート調査の実施 参加児童の活動状況、満足度の把握を目的として11月に実施 本年度は、全実行委員会に調査希望の有無を確認し、実施の意向のあった66校で行った。(前年度までは、参加児童数をもとに抽出校26校で実施) 配付枚数6,600枚 回収枚数4,643枚(30年度1,903枚) 実行委員会に個別の集計結果を報告し、児童の活動に関する要望については、遊具の購入、体験プログラムの内容へ反映することとした。また、全体の結果については、公社ホームページに掲載 (5) スタッフ研修の実施 ア 安全管理講習会(P.13 参照) イ 安全管理員研修会(P.14 参照)
------	--

(6) スタッフ確保への支援

ア スタッフ活動(体験プログラムボランティア含む)説明会の開催

対 象	実施日・会場	参加者等
一般区民	5/31(金) 午後 生涯学習センター	出席 12 人(申込 12 人) スタッフ登録 10 人
	8/30(金) 午後 生涯学習センター	出席 11 人(申込 14 人) スタッフ登録 8 人
	10/31(木) 午後 足立区勤労福祉会館	出席 13 人(申込 14 人) スタッフ登録 6 人
大学生	6/19(水) 午後 東京未来大学	出席 7 人 スタッフ登録 3 人
外国人おもてなし語 学ボランティア	7/1(月) 午後 生涯学習センター	出席 6 人 ボランティア希望 3 人

イ スタッフ募集案内の作成・配布(P.16 参照)

ウ 各種広報媒体等でのスタッフ募集

区・公社ホームページ、公社ニュース「トキメキ」、本庁舎・生涯学習センターでの
パネル展示

実施
結果

2 全学年及び週 5 日実施校の拡大

(1) 全学年実施校 68 校(平成 30 年度末 66 校)

1 年生未実施校 綾瀬小

※令和 2 年度から仮校舎へ移転し、令和 4 年度に新校舎へ戻る予定

(2) 週 5 日実施校 67 校(平成 30 年度末 67 校)

一部未実施校 千寿第八小(週 4 日実施)、綾瀬小(週 2 日、火、金曜実施)

※千寿第八小は、週 3 日実施から週 4 日実施となった。

3 「足立区放課後子ども総合プラン」の実現

(1) 学童保育室との連携

ア 放課後子ども教室・学童保育室・学校の三者による情報連絡会を 43 校で実施

イ スタッフ研修の情報を共有

(2) 体験プログラムの拡充

ア 各実行委員会が実施する体験プログラムの支援や体験プログラムの導入を 3 つ
の手法(「地域人材活用」「団体連携」「公社企画」)で行った。

(P.9~12 参照)

イ 体験プログラムをサポートするボランティアを発掘するため、「子どもと遊ぶおりが
み教室」、「放課後読書支援サポーター講習会」など公社主催の区民向け講座を実施した。
あわせて当講座をスタッフに周知し、各実行委員会で体験プログラムを実施
するきっかけとした。

(P.24~28 参照)

実施 結果	＜活動実績＞ 4月～2月の実績（3月は新型コロナウイルス感染防止により休校）						
	年度 (学校数)	全学年 実施 校数	1校平均 年間実施 日数	延参加 児童数 (1校あたり)	1校1日 平均参加 児童数	活動 スタッフ 人数	1校平均 巡回回数
	平成29 (69)	63校	166日	700,897人 (10,158人)	61.0人	1,249人	49回
	平成30 (69)	66校	168日	711,024人 (10,305人)	61.5人	1,267人	49回
令和元 (69)	68校	153日	616,733人 (8,938人)	58.4人	1,238人	45回	
	＜支援実績＞						
	項 目		年間実績累計				
	会議・打合せ・説明会等への出席		759回（1校平均11回）				
	放課後子ども教室・学童保育室・学校による情報連絡会		43校				
	体験プログラム実施校		69校				
	児童の怪我・物損等に伴う保護者対応		怪我 1,098件（通院あり176件 うち入院2件） 物損5件				
	スタッフの怪我・物損等に伴う対応		怪我10件 物損0件				
事業評価 と課題への 対応	<p>1 新型コロナウイルス感染防止による小学校休校に伴い、令和2年3月に放課後子ども教室事業が休止したことを除いて、事業計画通りに運営支援事務を行うことができた。</p> <p>2 全学年実施については、前年度より2校拡大。週5日一部未実施校は、前年度と変動がないが、1校は週3日から1日増の週4日実施となった。各校の現状にあわせた支援調整を行い、引き続き、全校実施に向けて取り組んでいく。</p> <p>3 体験プログラムの拡充については、実行委員会に対して、新規プログラムの周知、導入につなげる働きかけを行った。引き続き、実行委員会の理解を促し、協力団体およびボランティア人材の確保に努め、体験プログラムを実施する放課後子ども教室の拡充に努めていく。</p>						

- *1 あだち放課後子ども教室:放課後の小学校の校庭や図書室等を活用し、小学生に安全安心な居場所を提供する文部科学省の「放課後子供教室推進事業」に基づく足立区教育委員会主催の事業。地域の方々が安全管理員(以下、スタッフ)として、見守る中、子どもたちが自主的に遊び、学び、読書等さまざまな体験、交流を行う
- *2 実行委員会:各小学校の放課後子ども教室を運営する団体。地域住民により構成され、年間の事業計画や運営方法の決定、スタッフの選任などを行う

【2】『放課後 ^{プラスワン} + One』 (放課後子ども教室における体験プログラム) 定款第4条第1項第1号 (1)体験プログラムの提供 ①体験プログラム等	予算現額		3,314,000 円			
	執行額		3,212,183 円			
(ア) 地域人材活用・体験プログラム	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	216回	3,160人	248回	3,346人	◎	
概要	公社が育成した人材を紹介し、実行委員会が実施するプログラム					
目的	① おりがみ教室では想像力の醸成と集中力の向上、読書支援では本への興味関心を高める。 ② 子どもに関わる地域人材を増やすことにより、子どもの体験・交流活動を促進する。 ③ 地域人材を子どもの活動支援者として活躍してもらう機会を創る。					
実施結果	放課後キッズおりがみ教室 (予定25校・実績27校)	200回	3,000人	216回	3,069人	—
	放課後キッズ読書支援 (予定2校・実績6校)	16回	160人	32回	277人	—
事業評価と課題への対応	1 おりがみ教室では、季節感のある作品づくりを中心に日本の伝統文化であるおりがみの体験機会を提供した。読書支援では、サポーターが放課後の図書室で、一緒に本を選んだり、読み語りなどの子どもと本をつなぐ交流を行うことで、子どもの創造性が高められ、地域の方との良いふれあいの場にもなった。さらに活動の場を増やすため各校と調整を行う。 2 『放課後+One』を推進するため、引き続き担い手となるサポーターの発掘・育成を行い、継続的な活動支援を行いながら体験プログラムの拡充につなげていく。					



「放課後キッズおりがみ教室」



「放課後キッズ読書支援」

(イ) 団体連携・体験プログラム		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		105回	2,255人	106回	2,697人	◎
概要	公社が企業等の団体と連携し、実施するプログラム					
目的	① 放課後子ども教室に適したプログラムを有する様々な団体と連携して、児童の体験・交流活動を充実させる。 ② 読書推進や体力向上などの課題解決につなげるため、同じ目的のプログラムを実施する団体と連携し、体験・交流活動の効果を高める。					
実施 結果	リサイクル工作	新規	—	2回	82人	—
	足立区リサイクルセンターあだち再生館(新規・実施2校)					
	ボードゲーム	新規	—	1回	30人	—
	インスト能力向上協会(新規 実施1校)					
	英語遊び&歌体操ダンス	新規	—	10回	145人	—
	株式会社リメンバランス(新規 実施5校)					
	ロボットプログラミング体験教室	新規	—	2回	35人	—
	東京メトロ株式会社(新規 実施2校)					
	VR空間で異文化体験*1	新規	—	1回	40人	—
	特定非営利活動法人放課後 NPO アフタースクール(新規 実施1校)					
	植物クラフト*2	新規	—	1回	46人	—
	足立区みどり公園推進室みどり推進課(新規 実施1校)					
	和太鼓ワークショップ	新規	—	2回	51人	—
	民族歌舞団 荒馬座(新規 実施2校)					
	コミュニケーションワークショップ	新規	—	2回	87人	—
	「あそびのひろば」NPO 法人ドラマケーション普及センター 東京都専門人材を活用した活動プログラムの充実事業(新規 実施2校)					
	フラッグ鬼ごっこ*3	20回	500人	16回	614人	—
	足立区スポーツ推進委員会(予定2校・実施2校)					
	スポーツスタッキング*4教室	40回	800人	34回	764人	—
	総合型地域スポーツクラブ U&U(予定8校・実施17校)					
ミニコンサート&楽器体験	8回	240人	7回	194人	—	
AJBT アンサンブル(予定8校・実施7校)						
工作「ハンズヒントクラブ」	1回	30人	2回	66人	—	
株式会社東急ハンズ(予定1校・実施2校)						
将棋教室	16回	320人	14回	311人	—	
公益社団法人日本将棋連盟(予定2校・実施2校)						
どうぶつしょうぎ*5 教室	12回	240人	5回	115人	—	
どうぶつしょうぎを育てる会「いっぽ」(予定6校・実施3校)						
おもちゃ講座	1回	20人	—	—	—	
イワヤ株式会社(予定1校・実施なし) 連携先の都合により未実施						
ビブリオバトル*6	7回	105人	7回	117人	—	
株式会社グランディオサービス(予定3校・実施3校)						

事業評価 と課題へ の対応	<p>1 計画した体験プログラムの一部(スポーツスタッキング教室等)が、新型コロナウイルスの影響により中止となったことを除いて、予定通り実施することができた。</p> <p>2 体験プログラムへの協力団体を募るため、公社ニュース「トキメキ」や公社ホームページ等での広報に加え、区関係所管との連携、東京都体験プログラム拡充事業への応募により、新たな協力先を5箇所(INST能力向上協会・株リメンバランス・足立区みどり推進課・荒馬座・NPO 法人ドラマケーション普及センター)増やすことができた。</p> <p>3 連携先、ボランティア人材の発掘をすすめるため、今後とも、協力団体の募集、東京都の「専門人材を活用した活動プログラムの充実事業」への応募や区内の NPO・ボランティアまつりを見学し、協力団体の情報を収集する。</p>
---------------------	--

- *1 VR 空間で異文化体験:360度の壁面に、4K プロジェクターで投影した世界の国々の映像体験に合わせて、各国の名所や生活の様子を調べ、発表するプログラム
- *2 植物クラフト:押し花のカードや小枝のストラップ作り等、植物に親しむ工作
- *3 フラッグ鬼ごっこ:スポーツ推進委員会が普及している鬼ごっこ型の宝取りゲーム
- *4 スポーツスタッキング:数個のカップを積み上げて、元に戻すスピードを競う競技
- *5 どうぶつしょうぎ:3×4 マスの盤でライオンや象が描かれた8個の駒で対戦する、将棋のルールを簡略化したゲーム
- *6 ビブリオバトル:数人の発表者が本を紹介し、一番読みたい本に投票する、読書啓発につながるゲーム



「スポーツスタッキング教室」



「ビブリオバトル」



「ミニコンサート&楽器体験」

(ウ) 公社企画・体験プログラム		予定回数/目標数		実施結果		達成
		8 種目	新規 87 校(延)	8 種目	新規 104 校(延)	◎
概要	公社が放課後子ども教室に導入し、スタッフが実施するプログラム					
目的	<p>① 児童の体験・交流活動を充実させるため、放課後子ども教室の条件に適したプログラムを用意し、各校の活動状況に合ったものを導入してプログラム実施校を増やす。</p> <p>② 読書推進や体力向上などの課題解決につなげるため、放課後子ども教室の特性を活かしたプログラムを開発して各校に導入し、体験・交流活動の効果を高める。</p>					
実施 結果	< 新規実施校 >					
	スポーツスタッキング	8 校	7 校	—		
	天下統一*1	10 校	10 校	—		
	投げる遊び*2	10 校	8 校	—		
	ラッキーパズル*3	5 校	14 校	—		
	どうぶつしょうぎ	6 校	3 校	—		
	読書の通帳*4	3 校	2 校	—		
	大型図書*5	5 校	1 校	—		
	ちゃれんじ! 知る見る・ザ・ワールド*6	40 校	59 校	—		
<p>幅広い分野の体験機会提供のため、運動、文化、学び・読書の観点からプログラムを企画し、実行委員会へのプログラム趣旨の説明、実施にあたってのスタッフとの調整、用具の準備、児童への周知等を行い、合計 8 種目、のべ 104 校に新たに導入した。</p>						
事業評価 と課題への 対応	<p>1 活動スペースや参加人数等の課題があり、これまで体験活動を広げられなかった放課後子ども教室でも簡易な準備や関わりで実施できるものを提案し、導入を促した。その結果、参加児童の体験活動の拡充につなげることができた。</p> <p>2 今後とも、各放課後子ども教室の状況に適し、児童の興味関心を広げるプログラムを企画、提案する。中でも、体力向上、読書啓発、オリンピック・パラリンピックに関連した学びや遊びなど日常の活動の中で定着しやすく、かつスタッフや異学年との交流が促進できるしかけを行っていく。</p>					

*1 天下統一: ボールを投げて人に当てたり、そのボールを捕ったり逃げたりする運動あそび

*2 投げる遊び: たまねぎ型のボール投げや的当てなど、投げる力を養う運動あそび全般

*3 ラッキーパズル: 数種類の木片を組み合わせて様々な形を作る木製のパズルゲーム

*4 読書の通帳: 読んだ本のタイトルを記入する通知用型のカード

*5 大型図書: 新聞紙大の絵本やパネルシアター等、子どもの目を惹く図書資料を貸し出す取組み

*6 ちゃれんじ! 知る見る・ザ・ワールド: 世界の国々へ関心を持つきっかけとなるような書籍を用いて「チャレンジポケット」や「国旗しおり」、「万国旗」を作成する取組み

※当事業の予算及び執行額はP6の【1】に含む

【3】安全管理講習会(応急手当実技) 《区受託》 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	予定回数/目標人数		実施結果		達成
	69回	1,035人	69回	1,037人	◎
概要	スタッフが、事故や怪我・熱中症等の防止とその対応に必要な知識を学ぶ講習会 (毎年全校で実施)				
目的	見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当技術を習得させる。				
実施結果	4月～7月開催 全小学校の放課後子ども教室 69校 講師: NPO 法人スポーツセーフティージャパン派遣講師 専門講師を招き、緊急対応(心肺蘇生法・AEDの使い方)、応急手当の方法(アイシングなど)、熱中症の予防と対策などについて、実技を交えて実施した。				
事業評価と課題への対応	1 実技を交えた緊急時の対応及び応急手当は、毎年、繰り返し確認することができ、見守り活動に役立つとスタッフに好評である。また、各小学校を会場として開催することにより、スタッフ間でAEDの設置場所や救急搬送時の動線を再確認できた。 2 講習会の内容の充実と全校69箇所での円滑な実施、さらに講師との日程調整や物品運搬等実施方法の改善を図るため、来年度以降の実施方法の見直しを行う。				

※当事業の予算及び執行額はP6の【1】に含む

【4】新任安全管理講習会(応急手当実技) 《区受託》 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	3回	—	2回	43人	△	
概要	新規に登録したスタッフが、事故や怪我・熱中症等の防止とその対応に必要な知識を学ぶ講習会					
目的	見守り活動に必要な緊急時の対処法や応急手当技術を習得させる。					
実施結果	10月18日(金) 午前	1回	—	1回	21人	—
	12月17日(火) 午前	1回	—	1回	22人	—
	生涯学習センター 講師: NPO 法人スポーツセーフティージャパン派遣講師					
	3月5日(木) 午後	1回	—	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
	見守り活動を開始する際の必修の講習と位置付けている。専門講師を招き、緊急対応(心肺蘇生法・AEDの使い方)、応急手当の方法(アイシングなど)、熱中症の予防と対策などについて、実技を交えて実施した。					
事業評価と課題への対応	1 新任スタッフが緊急時の対応と応急手当の方法を学び、児童の見守りに対する安全意識の向上に努めた。 2 新任スタッフに適した講習内容となるように、受講者アンケートを参考に見直しを図りながら毎年実施していく。					

【5】安全管理員研修会 定款第4条第1項第5号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成	予算現額	215,000円				
	執行額	60,676円				
	予定回数/目標人数	実施結果		達成		
	5回 300人	4回	264人	○		
概要	スタッフが見守り業務に役立つ専門的知識と技術を学ぶ研修会					
目的	児童への接し方、危機管理等に関する知識を得て、スタッフとしての対応能力を高める。					
実施 結果	スタッフ研修 Aコース	1回	100人	2回	114人	—
	「子どもの発達の理解と必要な遊びの支援 ～子どもたちに気持ちで向き合うことの大切さ～」 7月2日(火) 午前 ギャラクシティ、7月9日(火) 午前 生涯学習センター 講師:安藤耕司氏(練馬区教育委員会事務局 こども施策企画課 放課後児童対策担当)					
	スタッフ研修 Bコース	2回	100人	1回	107人	—
	「言動が気になる子どもの理解」 11月5日(火)午前 こども支援センターげんき 講師:阿部利彦氏(星槎大学教授 星槎大学附属発達支援臨床センター長)					
	スタッフ研修 Cコース	—	—	1回	43人	—
「体験プログラム報告会」各種プログラムを実演、展示等で紹介 12月2日(月) 午前 生涯学習センター 講師:「どうぶつしょうぎ」藤田麻衣子氏(どうぶつしょうぎを育てる会「いっぽ」代表) 「スポーツスタッキング」楡井忠夫氏(総合型地域スポーツクラブ U&U 運営委員) プログラム紹介:「工作」関敦子氏(弘道小放課後子ども教室実行委員長) 「投げる遊び」など 公社職員 工作等展示・説明:講師、実行委員会主催プログラム発表校5校のスタッフ、公社職員						
スタッフ研修 Dコース	2回	100人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止			
「体験プログラム現場見学会」 プログラムの実施状況を見学(種目:スポーツスタッキング、ミニコンサート&楽器体験、天下統一、植物クラブ) 2月25日(火)、26日(水)、3月5日(木)、11日(水) 午後 各プログラム実施校5校						
事業評価 と課題への 対応	<p>1 前年度に引き続き、研修のテーマは、スタッフから要望が多い、「児童との接し方」、「児童とスタッフ相互の気持ちの理解を深めること」をポイントに設定した。</p> <p>特に Aコース「子どもの発達の理解と必要な遊びの支援」は学童保育室や放課後子ども教室に直接関わってきた講師に、具体的に子どもとの向き合い方について、事例を交えて講義をしていただき、日常運営に活かせる内容であったとして好評を得た。</p> <p>2 Cコース「体験プログラム報告会」では、実行委員会に新たな体験プログラムを導入するきっかけとなるよう、体験プログラムの中から、団体や地域のボランティアの協力で実施するもの、公社が企画したもの、実行委員会での取り組みなどを実演や映像で報告した。併せて、研修に参加していない実行委員会も含め全校に「体験プログラムガイド」と、関心のある体験プログラムを選択する「希望票」を配付した。今後、各校の希望をもとに体験プログラムの導入を進めていく。</p>					

【6】運営委員会 <<区受託>> 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	予算現額		761,000円		
	執行額		692,340円		
	予定回数/目標人数		実施結果		達成
	1回	—	1回	71人	◎
概要	全放課後子ども教室及び関係団体の代表により組織され、放課後子ども教室事業について、検討・調整を行う会議				
目的	各事項の検討を通して、事業趣旨や必要性に対する理解を深めるとともに、新しい課題への共通認識を持ち、日常運営での取り組みに反映する。				
実施結果	1月21日(火) 午後 生涯学習センター 出席者:実行委員長・関係団体代表 講演:①「子どもを守る危機管理」 ②「令和元年 台風19号の概要」 講師:①外野 順 氏(足立区危機管理部犯罪抑止担当課長) ②會田 康之氏(足立区危機管理部災害対策課長) 実行委員会感謝状贈呈 39校(放課後子ども教室開設から10年を経た学校)				
事業評価と課題への対応	1 参加された実行委員長からは、「子どもの安全という観点からも改めて防犯に努めたい」との声が多かった。また、災害についての具体的な対策の話もあり分かりやすかったとの声もあった。 2 ブロック会議と連動したテーマ「危機管理」の講演については、日頃の活動で取り組んできたこと以外にも意識すべきことを再認識していただく機会となった。今後も活動に付随する課題等の解決に繋がるテーマを教育委員会と協議し、見守り活動に活かせる内容となるよう企画・実施する。				

※当事業の予算及び執行額はP15の【6】に含む

【7】ブロック会議 <<区受託>> 定款第4条第1項第5号 (1)あだち放課後子ども教室支援 ①あだち放課後子ども教室の支援・推進	予定回数/目標人数		実施結果		達成
	13回	—	13回	141人	◎
	小学校13ブロックごとに、実行委員会と学校の代表者が、情報交換や課題の協議・調整を行い、運営委員会の円滑な実施を補完する会議				
	概要				
目的	実行委員会の代表者が、他校の実施状況や、事業の方向性、現状課題に関連する情報発信を受けて、より充実した日常運営での取り組みに反映する。				
実施結果	11月20日(水)～12月6日(金)午前又は午後 各ブロックの小学校で順次実施した。内容は、学校長からは学校で実施している防犯対策のうち、放課後子ども教室に「関連する事」「生かせる事」「連携できる事」について、実行委員長からは放課後子ども教室の日常運営の中での「身近にあったヒヤリハット」「防犯対策に関して気にかけている事」「困った事」を報告した。さらに、学校と放課後子ども教室の連携について、今後の運営に、参考としたい事例について話し合い、情報を共有した。				
事業評価と課題への対応	防犯対策という共通の課題について、各々の立場での対策を情報共有することができ、より具体的な行動につながる話し合いができた。今後も他校との情報交換を行えるような形態で実施し、課題に対して具体的な対策を講じていく。				

【8】「あだち放課後子ども教室利用案内」の作成 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ②放課後子ども教室利用案内等作成	予算現額	350,000円		
	執行額	332,200円		
	予定回数	実施結果	達成	
	随時	随時	8,000部	—
概要	放課後子ども教室の事業内容をわかりやすく掲載し、保護者及び関係者へ配付する冊子			
目的	① 放課後子ども教室の活動内容を広く周知し、参加を促進する。 ② 保護者へ事業内容及び参加時のルール等の理解を促し、円滑な教室運営につなげる。 ③ 実行委員・スタッフ、学校関係者等に運営に関する共通理解を図り、安定的な教室運営につなげる。			
実施結果	1 新1年生の保護者に配付し、放課後子ども教室の内容を周知し、登録を促した。 2 新しい実行委員・スタッフ、学校関係者への事業説明時に活用した。			
事業評価と課題への対応	1 日常運営を担う見守りスタッフの声を反映した。参加の際の留意点や安全対策に配慮した対応を行っていることを追記し修正した。 2 利用案内の内容は全校共通の事業概要であるので、各放課後子ども教室の詳細をお知らせするために、別途、学校別の登録案内を作成し、利用案内とあわせて配付し情報を補完している。			

※当事業の予算及び執行額はP16の【8】に含む

【9】「あだち放課後子ども教室スタッフ募集案内」の作成 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ②放課後子ども教室利用案内等作成	予定回数	実施結果	達成		
	随時	随時	8,000部	—	
	概要	放課後子ども教室及びスタッフの活動内容や体験談等を掲載し、スタッフ募集の際に配布するパンフレット			
	目的	スタッフ活動の魅力を発信し、スタッフの安定確保を図る。			
実施結果	生涯学習センター、住区センター等公共施設への配架、スタッフ活動説明会、大学、各校の保護者、放課後子ども教室実行委員、スタッフ等を通じて地域に随時配布し、スタッフ募集に活用した。				
事業評価と課題への対応	1 見守り活動の具体的内容と、幅広い年代、立場のスタッフに、スタッフ自身のやりがいなどのコメントを記載したことで、活動が身近に感じられ、地域への声かけの際に活用できるとの声を実行委員などから頂いている。 2 スタッフ活動説明会(P.7参照)で活用し、活動内容を整理して説明するための一助となった。				

2 文化事業

文化事業	予算現額	8,588,000 円
	執行額	7,933,700 円

【1】あだちアートルinkカフェ 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①文化団体等地域人材育成	予算現額		1,073,000 円		
	執行額		888,166 円		
	予定回数/目標人数		実施結果		達成
	6回	130人	4回	66人	△

概要	アートに関わる方々を対象とした、新たな出会いと交流を図る情報交換会					
目的	<p>① 情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ地域の持つ力の向上を図る。</p> <p>② 出会いをきっかけとして、参加者による自主的な企画を創出する。</p> <p>③ 出会いの場に特化した異業種の交流会を実施することにより新たな区民還元となる文化事業につなげる。</p>					
実施結果	第74回「soco1010がアートスペースとして描く“場”とは。～建築→食→アートプロジェクト→??～」	1回	20人	1回	18人	—
	4月26日(金)夜間 soco1010(千住橋戸町) ゲストスピーカー:田草川紘一氏(soco1010 主宰 シャボン玉発生機械作家)					
	第75回「オスタカからはじまる グリーフケアと縁づくり」 ※グリーフケア:親族や家族、友人など親しい人との死別を体験し悲嘆の日々を過ごしている人に寄り添い、その深い悲しみから立ち直らせること。	1回	20人	1回	19人	—
	6月28日(金)夜間 東京芸術センター ゲストスピーカー:工藤康浩氏(建築家、足立区景観審議委員)、 工藤理佳子氏(「知らない路地の映画祭」制作委員会代表理事)					
	第76回「フリーの専門音楽家として生きぬく工夫」	1回	20人	1回	12人	—
	9月27日(金)夜間 東京芸術センター ゲストスピーカー:八木倫明氏(ケーナ奏者/作詞家)					
事業評価と課題への対応	第78回「口笛奏者としての歩み」	1回	20人	1回	17人	—
	11月22日(金)夜間 東京芸術センター ゲストスピーカー:青柳呂武氏(口笛奏者、東京藝術大学大学院生)					
	第79回「ミートアップ2020」 地域のアーティストと企業・団体等との出会いと交流に焦点を絞ったアート領域の交流会	1回	30人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
	第80回 3月27日(金)夜間	1回	20人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
	2月28日(金)夜間 シアター1010 アトリエ					
	1 参加者から当事業の出会いをきっかけにして、自身のコンサートや催し物への出演につながった等の報告を受けた。					
	2 区策定の「足立区文化芸術推進計画」の「文化芸術交流会(仮)」と調整する。					

※当事業の予算及び執行額はP17の【1】に含む

【2】あだちアートリンクカフェ公開講座 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成	予定回数/目標人数		実施結果		達成
		1回	300人	台風の影響により中止	
概要	「あだちアートリンクカフェ」の一般区民向けの公開講座				
目的	① 文化芸術に関心の高い区民を対象に講座を提供し、文化面での区民還元を図る。 ② 情報交換と交流により、各自の地域での活動の幅を広げ地域の持つ力の向上を図る。				
実施結果	(計画していた事業) 第77回「〜ドラマサークル in A-Festa2019〜」10月12日(土)午前・午後 荒川河川敷 虹の広場 エキサイティングゾーン				

※当事業の予算及び執行額はP17の【1】に含む

【3】実践！アウトリーチ講座 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ②文化団体等地域人材育成	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
		1回	15人	1回	12人	○
概要	アウトリーチ活動に関心を持つアーティスト等を対象に、アウトリーチ活動に関する知識と技術を学ぶ講座(2日制)					
目的	① アウトリーチの知識・技術の習得により、地域でアウトリーチ活動を行う人材を育成する。 ② 演奏家やそれを支える人材を発掘し、地域での活動による区民還元の可能性を拡大する。					
実施結果	4月13日(土)、14日(日)午前・午後	1回	15人	1回	12人	—
	竹の塚地域学習センター ・講義「アウトリーチプログラムの作り方」、「相手に伝えたいことの話し方」 児玉真氏(一般財団法人 地域創造プロデューサー) ・講義「アウトリーチから始まる地域の活力創出」 吉本光宏氏((株)ニッセイ基礎研究所 研究理事) ・デモ演奏「サクソフォンとピアノのアウトリーチプログラム体験」 田村真寛氏(サクソフォン奏者(クローバー・サクソフォン・クワルテット)、洗足学園音楽大学非常勤講師他) 白石光隆氏(ピアニスト、東京藝術大学・お茶の水女子大学非常勤講師) ・座談会「演奏家から見たアウトリーチ」(児玉氏、吉本氏、田村氏、白石氏) ・グループワーク「他のジャンルとアートとのコラボレーションを考えてみよう」 ・グループ発表・総評					
事業評価と課題への対応	1 演奏家をはじめ公共ホール職員、音楽専攻の大学院生のほか、地域のイベント企画などに興味関心のある方が受講された。受講者からは、音楽家として社会とのかかわり方やアウトリーチの可能性について学ぶことができた、当事業で習得した考え方や知識・技術を今後の活動に活かしたい、などの意見を得られた。 2 修了者の活動機会を増やし、区民還元を図るため、公社事業への出演協力や「イベントコーディネート事業」(P.19)で人材を紹介するなど、イベント等を企画実施する団体・企業へ情報提供を行っていく。					

【4】文化団体等支援 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援	予算現額	—		円		
	執行額	—		円		
	予定回数/目標人数	実施結果		達成		
	6回	—	6回	3,337人	—	
概要	自主的な文化活動を行う区民、団体に対し、助言や活動の場の提供などの支援をする。					
目的	活動に対する助言や場の提供の支援により、区民文化活動の充実に寄与する。					
実施結果	足立吹奏楽団 第29回スプリングコンサート 5月26日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	493人	—
	ブリランテ 25周年記念コンサート 7月7日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	567人	—
	歓喜の演 Vol.18 《合唱》 10月26日(土)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	720人	—
	歓喜の演 Vol.18 《狂言》 11月3日(日・祝)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	520人	—
	ブリランテ 25周年記念コンサート 12月8日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	600人	—
	足立吹奏楽団 第41回定期演奏会 2月16日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	1回	437人	—
	事業評価と課題への対応	区民による主体的な文化芸術活躍を支援した。今後の文化団体等への支援のあり方については、区地域文化課と協議を進めていく。				

【5】イベントコーディネート事業 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ②文化団体等支援	予算現額	—		円	
	上半期執行額	—		円	
	予定回数/目標人数	実施結果		達成	
	随時	—	5件	—	—
概要	地域の団体・機関、小学校等からのイベントの企画・運営や出演者に関する相談窓口				
目的	地域での主体的な文化芸術活動の活性化を図る。				
実施結果	マンション内カフェラウンジで行うコンサートの出演者紹介(西新井栄町マンション自治会)				
	光の祭典オープニングセレモニーの出演者の紹介(観光交流協会)				
	障がい者施設での新年会の出演者紹介(あだちの里 綾瀬なないろ園)				
	ベルモント使節団に向けた和 문화体験プログラムを行う文化団体の紹介(観光交流協会)				
	学生企画「あの曲のなまおと音楽会(ピアノ、邦楽)」を実施する小学校の紹介(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻)				
事業評価と課題への対応	1 過去に依頼を受けた団体等から好評を得ており、繰り返し紹介依頼を受けている。 2 依頼者のニーズに合ったコーディネートや助言をしながら、引き続き支援していく。				

【6】楽団及び楽団友の会の運営支援、 演奏活動の支援(通年) <<区受託>> 定款第4条第1項第5号 (1)足立ジュニア吹奏楽団支援 ①足立ジュニア吹奏楽団の支援	予算現額		4,770,000 円			
	執行額		4,588,390 円			
	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	108回	12,750人	93回	10,752人	○	
概要	「足立ジュニア吹奏楽団」の育成・活動の支援 ※区内の小学4～6年生中心の楽団					
目的	① 生涯にわたり音楽を愛好する児童の育成を図り、区の音楽文化を支える人材の輩出に貢献する。 ② 楽団活動を通して、足立区の音楽文化の向上・発展に寄与し、魅力ある地域づくりに貢献する。					
実施 結果	<定期練習>					
		85回	3,000人	77回	4,620人	—
	水曜日夜間、土曜日午前または午後 島根小学校音楽室					
	<楽団活動>					
	入団式	1回	80人	1回	90人	—
	4月6日(土)午後 島根小					
	楽団友の会総会	1回	40人	1回	38人	—
	5月11日(土)午後 島根小 ※楽団友の会:団員の保護者等で組織し、楽団を運営する会					
	避難訓練	1回	60人	1回	50人	—
	6月15日(土)午後 島根小					
	夏合宿	1回	90人	1回	82人	—
	8月10日(土)～12日(月) 日光林間学園					
	説明会、練習見学会、 プラスキッズガイダンス	2回	20人	1回	11人	—
	※プラスキッズ:定期演奏会に向けて練習する小学1～3年生 1月25日(土)午前 島根小					
	プラスキッズ	4回	160人	2回	21人	—
	1月25日(土)、2月8日(土)午前 島根小 (3/14(土).21(土).22(日))は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止)					
	<自主演奏会>					
	サマーコンサートinアリオ西新井	2回	650人	2回	670人	—
	8月31日(土)午後 アリオ西新井					
	クリスマスコンサートinアリオ西新井	2回	650人	2回	720人	—
12月21日(土)午後 アリオ西新井						
第30回定期演奏会	1回	500人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止			
3月22日(日)午後 西新井文化ホール						
<派遣演奏/イベント演奏>						
LSE!チャリティーバザー2019	1回	800人	1回	1,000人	—	
5月19日(日)午前・午後 株式会社ライフサポート・エガワ(LSE)						

実施 結果	足立東部地区少年軟式野球 総合開会式 8月18日(日)午前 都立中川公園	1回	1,200人	1回	1,350人	—	
	ふれあいはあとまつり 10月12日(土)午前 介護老人福祉施設 ル・ソラリオン西新井	1回	300人	台風の影響により中止			
	区民体育大会総合開会式 10月14日(月・祝)午前 総合スポーツセンター	1回	400人	台風の影響により中止			
	スポーツカーニバル 10月14日(月・祝)午前 総合スポーツセンター	1回	3,200人	台風の影響により中止			
	ウルトラハロウィンキッズパレード 10月27日(日)午前・午後 東京ドームシティ	2回	1,200人	2回	1,800人	—	
	三星こどもバザー 11月9日(土)午前 三星保育園	1回	200人	1回	300人	—	
	島根小もちつき大会 2月29日(土)午前 島根小	1回	200人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止			
	事業評価 と課題への 対応	<p>1 新たに28人入団し、団員数が69人に増加した。派遣演奏では、依頼先から高い評価を得ており、定着した演奏依頼を受けている。</p> <p>2 楽団及び楽団友の会が自主的な安定運営ができるように助言するとともに、団員確保や協賛金調達などの支援を行っていく。</p>					

【7】足立ジュニア吹奏楽団派遣演奏支援 (楽器運搬)	予算現額	324,000円				
	執行額	198,380円				
定款第4条第1項第3号	予定回数/目標人数	実施結果		達成		
(1)地域学習・団体活動支援	4回	—	3回	—	○	
②文化団体等支援						
概要	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏に伴う楽器運搬費用の助成					
目的	足立ジュニア吹奏楽団の派遣演奏を円滑に行う。					
実施 結果	サマーコンサート in アリオ西新井 8月31日(土)午後 アリオ西新井	1回	—	1回	—	—
	ウルトラハロウィンキッズパレード 10月27日(日)午前・午後 東京ドームシティ	1回	—	1回	—	—
	クリスマスコンサート in アリオ西新井 12月21日(土)午後 アリオ西新井	1回	—	1回	—	—
	第30回定期演奏会 3月22日(日)午後 西新井文化ホール	1回	—	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
	事業評価 と課題への 対応	楽器運搬費の支援を行うことで、派遣演奏の実施回数を増やすことができた。今後の支援方法については、区地域文化課と協議する。				

【8】コンサート in ミュージアム 定款第4条第1項第1号 (2)文化イベント ①コンサート	予算現額	887,000 円				
	執行額	757,646 円				
	予定回数/目標人数	実施結果		達成		
	5回	250人	5回	322人	◎	
概要	区内5か所の民間文化施設で実施するコンサート					
目的	① 各施設の魅力とその特性を活かした良質のコンサートや催し物を区民に提供する。 ② 5施設をつなぎコンサートを実施することにより、区民への文化発信の相乗効果を図る。 ③ 各施設の主体的な事業運営を促すことにより、区民との協創関係を構築する。					
実施 結果	「今よみがえる優雅なバロックダンスの世界」	1回	50人	1回	53人	—
	5月19日(日)午後 わたなべ音楽堂<ベルネザール> 出演:湯浅宣子氏(バロックダンス)、佐野健二氏(リュート)					
	「月をうつす水面、土の笛の音」	1回	50人	1回	62人	—
	7月22日(月)夜間 六町ミュージアム・フローラ 出演:茨木智博氏、山本奈央氏(オカリナ)、藤野由佳氏(アコーディオン)					
	「心をつなぐ芸術のアンサンブル」	1回	50人	1回	72人	—
10月28日(月)午後 石洞美術館 出演:やぎりんカルテート・リベルタ 八木倫明氏(ケーナ・歌)、金川信江氏(クラリネット)、藤枝貴子氏(アルパ)、清永充美氏(ギター)						
「きらめく春、騒めく夏、彩づく秋、凍てつく冬」	1回	50人	1回	80人	—	
12月18日(水)夜間 BUoY 出演:澤田勝春氏(津軽三味線)、米谷和修氏(尺八・笛)、三宅治氏(太鼓)						
「一笑う門には福来る」	1回	50人	1回	55人	—	
1月26日(日)午後 昭和の家<平田邸> 出演:林家たけ平氏(落語家)						
事業評価 と課題への 対応	1 参加者アンケートの結果からも、毎回満足度の高い評価を得ている。連携する5施設の代表らが相互に協力し、事業の企画や当日の運営を行っている。 2 どの回も定員を超える応募があり、より多くの区民に機会を提供するため、来年度は公演数を増やす予定である。また、若年層の優先枠を設けるなど幅広い年齢層の参加を促していく。					



「月をうつす水面、土の笛の音」
六町ミュージアム・フローラ



「一笑う門には福来る」
昭和の家<平田邸>

【9】小学校アウトリーチコンサート 定款第4条第1項第1号 (3)生涯学習啓発 ①アウトリーチ等	予算現額		1,534,000 円			
	執行額		1,501,118 円			
	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	4校 /12回	300人	3校 /12回	351人	◎	
概要	小学生を対象に、生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションにより音楽への関心を醸成するコンサート					
目的	① 間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ② 生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む。					
実施結果	千寿双葉小 3クラス	3回	75人	3回	74人	—
	12月2日(月) 出演:加藤直明氏(トロンボーン)、白石光隆氏(ピアノ)					
	湧江第一小 3クラス	3回	75人	3回	88人	—
1月10日(金) 出演:加藤直明氏(トロンボーン)、白石光隆氏(ピアノ)						
実施結果	新田学園 6クラス	6回	150人	6回	189人	—
	1月15日(水)、16日(木) 出演:加藤直明氏(トロンボーン)、白石光隆氏(ピアノ)					
事業評価と課題への対応	1 1年生1クラス単位で開催し、迫力のある演奏や楽器に触れる体験、クイズ等を通して楽器の特性や音楽の楽しさを伝えた。教員へのアンケートでは、実施後の授業で児童が音楽や演奏家に対する興味関心が高まり、意欲的に学習する態度が見られたとの感想があった。 2 より多くの児童に機会を提供するため、来年度は学校数・公演数を増やす予定である。					

※当事業の予算及び執行額はP23の【9】に含む

【10】子ども未来応援アウトリーチコンサート 定款第4条第1項第1号 (3)生涯学習啓発 ①アウトリーチ等	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	1回	100人	1回	40人	△	
概要	子どもの貧困対策の視点から児童等を対象に、プロの生演奏の体験と演奏家とのコミュニケーションを図るコンサート					
目的	① 間近でプロの演奏家の生演奏と働きかけにより音楽への興味関心を導き出す。 ② 子どもの貧困対策の視点から生涯にわたり音楽に親しむ豊かな人間性を育む機会の場を提供する。					
実施結果	8月25日(日)午前	1回	100人	1回	40人	—
	竹の塚地域学習センター ホール 出演:アンサンブル・ディヴェルターズ 一村誠也氏(司会・フルート)、 丹羽道子氏(ヴァイオリン)、児玉千佳氏(チェロ)、一村誠子氏(ピアノ) ・対象者をひとり親世帯とし、区親子支援課を通じて情報発信を行った。					
事業評価と課題への対応	1 プロの生演奏を間近で体感し、会場では楽しみながら聞き入る親子らの表情が見られ、楽器や音楽への興味・関心が高まる体験になったとの感想を得られた。 2 今後は、対象者の拡大を図るため、母子生活支援施設、子ども食堂、子育てサロン等で実施する。					

3 生涯学習・スポーツ事業

生涯学習・スポーツ事業	予算現額	1,233,000 円
	執行額	885,438 円

【1】あだち子どもサポーター養成講座 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成	予算現額	563,000 円				
	執行額	516,100 円				
	予定回数/目標人数	実施結果		達成		
	4回	84人	6回	136人	◎	
概要	子どもの体験・交流活動に関わる地域人材の育成講座					
目的	① 地域人材を発掘・育成する。 ② 子どもの活動をサポートしている地域人材の指導力の向上を図る。					
実施結果	読み語りのためのボイストレーニング講座	1回	20人	1回	20人	—
	《5日制》5月20日～6月24日(毎月) 午前 生涯学習センター 6/24 発表体験・午後 講師:山下芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)					
	キッズあそびサポーター講習会	1回	20人	1回	24人	—
	《2日制》7月4日・11日(毎木) 午前 生涯学習センター 講師:三浦一朗氏(日本レクリエーション協会公認 レクリエーションコーディネーター)					
	読み語りのためのボイストレーニング体験講座	—	—	1回	37人	—
	9月28日(土) 午前 生涯学習センター 講師:山下芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)					
	子どもと遊ぶおりがみ教室第12期	1回	24人	1回	21人	—
《5日制》10月9日～11月6日(毎水) 午前 生涯学習センター 10/30 実習・午後 西新井第二小学校、東綾瀬小学校 講師:西川光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)						
～子どもと本をつなぐ～	—	—	1回	12人	—	
放課後読書支援サポーター講習会 11月29日(金) 午前 生涯学習センター 講師:公社職員(放課後+One 学び・読書部会)						
～あそびで育む運動能力～	1回	20人	1回	22人	—	
たのしい運動あそびリーダー講習会 12月21日(土) 午前 千寿本町小学校体育館 講師:篠原俊明氏(東京未来大学講師、 スポーツ庁「子供の体力向上プロジェクト」メンバー 2016～2018)						
事業評価と課題への対応	1 読み語りのためのボイストレーニング講座修了者から19人が読み語りキャラバン隊*1に参加し活動を開始できた。子どもと遊ぶおりがみ教室は17人が活動を希望し、2校で10人が活動を開始、残りの修了者も随時、希望地域へつなぐ予定。読書支援サポーターは、新規に4人を活動へつなぎ、放課後の学校図書館で、子どもと本をつなぐ活動を開始できた。 2 子どもたちの体験・交流活動の機会が広がるよう、担い手となる人材を養成し、実践の場が提供できるよう調整を行っていく。					

*1 読み語りキャラバン隊:公社主催「読み語りのためのボイストレーニング講座」修了者有志(ボランティア)により編成(P33参照)

※当事業の予算及び執行額はP24の【1】に含む

【2】あだち子どもサポータースキルアップ 講座 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	4回	86人	4回	88人	◎	
概要	子どもサポーター活動に必要なスキルアップ支援講座					
目的	① サポーター活動に必要な技術の向上を図る。 ② 子どもの体験・交流活動を支えるサポーター活動の継続に役立つ研修機会を提供する。					
実施 結果	読み語りのためのボイストレーニング スキルアップ講座 8月1日(木) 午前 生涯学習センター 講師:山下芳子氏(足立区演劇連盟、演出家)	1回	16人	1回	22人	—
	おりがみサポーター(1年目) 活動フォロー講座 10月23日(水) 午前 生涯学習センター 講師:西川光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)	1回	10人	1回	7人	—
	おりがみサポーターレベルアップ 講座《2日制》×2コース Aコース:11月13日～11月20日(毎水) 午前 生涯学習センター Bコース:11月27日～12月4日(毎水) 午前 生涯学習センター 講師:西川光恵氏(日本折紙協会認定講師、教育カウンセラー)	2回	60人	2回	59人	—
事業評価 と課題への 対応	1 実践に役立つ技術を学び、学んだ成果をすぐに活動に活かせる学習機会を提供し、活動の促進・継続化につながる支援となっている。 2 おりがみサポーターレベルアップ講座は、対象者数の拡大により定員を超えての開催が続き学習環境を整える必要性が生じていた。今年度は、講座数を2コースに拡充し定員増を図ったことにより、参加者からも学習効果が上がったと好評を得られたため、次年度も2コース設定を継続する。					

※当事業の予算及び執行額はP24の【1】に含む

【3】あだちこどもサポーターフォロー講座		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第2号						
(1)地域学習活動人材育成		2回	60人	2回	44人	○
①安全管理員等地域人材育成						
概要	こどもサポーター活動を継続するための意識啓発講座					
目的	① 活動のモチベーションの向上を図る。 ② ボランティアとしての基礎知識と活動姿勢を身に付ける研修機会を提供する。					
実施結果	サポーターフォロー講座 I	1回	30人	1回	21人	—
	楽しい子どもとの接し方 ～行動の裏側にある子どもの気持ち～ 10月8日(火) 午前 生涯学習センター 講師:藤後悦子氏(東京未来大学こども心理学部教授)					
実施結果	サポーターフォロー講座 II	1回	30人	1回	23人	—
	グループトークしよう! ～ボランティアの魅力、再発見～ 10月17日(木) 午前 生涯学習センター 講師:高井正氏(立教大学特任准教授、元足立区教育委員会社会教育主事)					
事業評価と課題への対応	子どもとの関わり方やボランティア活動で心得ておくべきことなどへの理解が広がり、子どもの活動を支えるボランティアとして意識啓発になったとの声が寄せられた。今年度は、他のボランティアとの話し合いが参考になるとの意見を基に、グループトークをメインとしたコースを設定し、活動上の悩みや工夫を共有する機会とした。自分とは異なる意見や視点に触れ有意義だったとの感想が多く、今後も情報交換の場としての機能も有する講座を検討する。					



「サポーターフォロー講座 I」



「サポーターフォロー講座 II」

※当事業の予算及び執行額はP24の【1】に含む

【4】あだち子どもサポーター活動支援 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	随時	—	251回	839人	—	
概要	こどもサポーター活動の始動や継続化のコーディネート、活動課題に対するアドバイス等 ※活動場所調整(放課後子ども教室実行委員会・スタッフ・保育園・高齢者施設等)					
目的	① サポーターの活動場所を確保し定期活動につなげる。 ② サポーターの主体的活動への発展を目指す。					
実施結果	おりがみサポーターの活動の支援 (予定25校・実績27校)	—	—	216回	769人	—
	読書支援サポーター活動の支援 (予定2校・実績6校)	—	—	32回	32人	—
	読み語りキャラバン隊活動の支援 (自主公演)	—	—	3回	38人	—
	1 養成講座修了した方を、放課後子ども教室「体験プログラム」でのボランティア活動へつなぎ、各実行委員会・スタッフとの連絡調整などの支援を行っている。今年度、おりがみ・読書支援サポーター活動は2月末で計33校・延800人に至った。 2 「読み語りキャラバン隊」自主活動の支援として児童館や放課後デイサービスなど活動場所の情報提供や日程調整を行った。					
事業評価と課題への対応	1 活動のコーディネートにより、ボランティアの活躍の場を広げ活動継続への支援ができた。おりがみサポーターは新規校の拡充を果たせた一方で、経年によりサポーターの高齢化や家庭の事情等で3校の活動が終了した。読書支援サポーターは、希望地域とのマッチングが難しく、実績校を増やせずに苦戦していたが、新たに4校始動し、人材活用が拡充できた。更に拡充できるよう、各実行委員会への働きかけと併せ、活動が継続・定着するよう支援を行っていく。 2 読み語りキャラバン隊の自主活動を推進するため、新たな活動場所の拡大が図れるよう支援を行っていく。					



「おりがみサポーターの活動の支援」



「読み語りキャラバン隊活動の支援」

※当事業の予算及び執行額はP24の【1】に含む

【5】あだち子どもサポーターネットワーク支援 定款第4条第1項第2号 (1)地域学習活動人材育成 ①安全管理員等地域人材育成	予定回数/目標人数		実施結果		達成	
	10回	170人	10回	234人	◎	
概要	各サポーター活動での工夫や特色などを学び合う交流会等					
目的	① 活動者相互の情報交換・技術向上。 ② 自主活動を促進し、区民への学習機会の提供につなげる。					
実施結果	おりがみサポーター交流会Ⅰ 7月3日(水)午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方	1回	40人	1回	68人	—
	読み語りキャラバン隊・自主練習会 4月～9月 随時 生涯学習センター 対象:読み語りキャラバン隊自主グループ	7回	70人	8回	90人	—
	おりがみサポーター交流会Ⅱ 1月22日(水) 午前 生涯学習センター 対象:サポーター活動中の方、活動を希望している方	1回	40人	1回	76人	—
	読み語りキャラバン隊・活動連絡会 3月5日(木) 午前 生涯学習センター 対象:今年度読み語りキャラバン隊新規加入者・自主グループ	1回	—	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		—
事業評価と課題への対応	<p>1 おりがみサポーター交流会は、各校の取り組みや活動に活かせる工夫を相互に学びあい、活動へのモチベーションにつながる有意義な場となっている。アンケートからも、情報交換の機会として継続してほしいとの声が多数あり、6割超の高い参加率が裏付けている。年々、サポーター数も多くなっていくため、充実した交流会となるようサポーターの意見を反映しながら進めていく。</p> <p>2 読み語りキャラバン隊の活動定着を目指した自主練習会は定期的実施できた。自主おはなし会活動の方針を話し合う「活動連絡会」は新型コロナウイルス感染症防止の影響で中止となり、新規メンバー加入の機会と活動計画づくりが滞っている。別の手立てを考案し、新年度のキャラバン隊活動を再開できるよう調整する。</p>					

【6】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 ～運動機能向上のためのトレーニング～ (高齢期) 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他	予算現額	234,000 円				
	執行額	133,230 円				
	予定回数/目標人数	実施結果		達成		
	4回	120人	4回	114人	◎	
概要	高齢者を指導する地域のスポーツ指導者や高齢者に関わる活動に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会					
目的	① 地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ② 「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な運動機能向上プログラムを普及する。					
実施結果	シニア(65歳～70歳代)指導 基礎理論編	1回	30人	1回	19人	—
	5月25日(土) 午前 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)					
	シニア(65歳～70歳代)指導	1回	30人	1回	17人	—
	実践指導編 【パークで筋トレ】の体験講習含む 5月25日(土) 午後 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》 阿部歩氏(足立区公認スポーツ指導員)					
実施結果	高齢者(75歳以上)指導 基礎理論編	1回	30人	1回	41人	—
	11月23日(土祝) 午前 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー)					
実施結果	高齢者(75歳以上)指導	1回	30人	1回	37人	—
	実践指導編 【パークで筋トレ】の体験講習含む 11月23日(土祝) 午後 生涯学習センター 講師:田中秋乃氏(健康運動指導士、日本コアコンディショニング協会マスタートレーナー) 《パークで筋トレ体験講習指導》 出井芳恵氏(足立区公認スポーツサポーター)					
事業評価と課題への対応	1 高齢期の身体特性とフレイル予防の重要性を学び、運動指導の実践力向上を図った。 2 区介護予防事業「パークで筋トレ」の体験を組み込み、指導のポイント等を共有した上で事業協力の呼びかけを行い、希望者計6名を区スポーツ振興課へつないだ。引き続き、育成した地域人材が活躍の場面につながるよう取り組む。					

※当事業の予算及び執行額はP29の【6】に含む

【7】スポーツ指導者スキルアップ講習会 《区受託》 ～運動あそびと体力向上トレーニング～ (子ども) 定款第4条第1項第5号 (3)体力向上支援人材育成 ①指導者養成他		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		4回	120人	2回	42人	△
概要	子どもを指導する地域スポーツ指導者や保育・学校体育等に携わる方を対象とした運動指導の実践講習会					
目的	① 地域指導者等のスキルアップの機会を通して、区民の健康体力づくりを推進する。 ② 「運動あそび」の実践方法を習得し、楽しく効果的な体力向上プログラムを普及する。					
実施結果	幼児指導 基礎理論編 7月27日(土) 午前 生涯学習センター 講師:小林宜義氏(日本スポーツ協会公認コーチ、小田原短期大学保育学科特任助教)	1回	30人	1回	20人	—
	幼児指導 実践指導編 7月27日(土) 午後 生涯学習センター 講師:小林宜義氏(日本スポーツ協会公認コーチ、小田原短期大学保育学科特任助教)	1回	30人	1回	22人	—
	小学生指導 基礎理論編(発達に課題のある児童の指導含む) 2月29日(土) 午前 千寿本町小学校 講師:小林宜義氏(日本スポーツ協会公認コーチ、川崎市立小学校特別支援学級非常勤講師)	1回	30人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
	小学生指導 実践指導編(発達に課題のある児童の指導含む) 2月29日(土) 午後 千寿本町小学校 講師:小林宜義氏(日本スポーツ協会公認コーチ、川崎市立小学校特別支援学級非常勤講師)	1回	30人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
事業評価と課題への対応	1 子どもの体力低下の課題に対応するため、意図的に体の使い方を習得させる運動遊びを推奨する指導者講習会を開催した。保育士や幼児体育指導者などが受講し、アンケートから「自分で体験した動きはイメージしやすく指導に活かせる」「どのように動きに負荷を加えればよいのか具体的でわかりやすかった」等の感想が多数あった。 2 後期実施分で、発達に課題のある児童への指導ポイントを学ぶカリキュラムも予定していたが、中止となったため次年度に再設定する。					

【8】健康づくり・スポーツ活動支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援	予算現額	311,000 円				
	執行額	128,238 円				
	予定回数/目標人数	実施結果			達成	
	2回	80人	1回	30人	△	
概要	健康づくり・スポーツ活動や、そのサポートをする人の学習を支援する講座					
目的	① 生涯スポーツを楽しく安全に継続するためのトレーニング理論を学ぶ機会を提供する。 ② スポーツ科学の第一線の講師による最新情報を提供する。					
実施結果	スポーツコンディショニング講座 スポーツを頑張る子どもを応援しよう!パフォーマンス向上の栄養学 7月29日(月) 午前 生涯学習センター 講師:堀口泰子氏(栄養士、食アスリートインストラクター)	1回	30人	1回	30人	—
	あだちウェルネスカレッジ ～カラダのしくみを学ぼう! “体幹”編～ 3月1日(日) 午前 生涯学習センター 講師:澤木一貴氏(全米エクササイズ&スポーツトレーナー協会理事)	1回	50人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
事業評価と課題への対応	1 スポーツコンディショニング講座は、ジュニアスポーツを支える保護者・指導者向けに栄養学をテーマに開催した。受講者は、水泳・サッカー・陸上競技など幅広い活動種目から集まり、スポーツ全般に共通する学習ニーズと合致したと考えられる。アンケートから「食事内容だけでなく、練習や試合時の捕食の中身やタイミングがわかりやすかった」との感想が多く、今後も実践に活かせる最新スポーツ科学情報の提供を目指していく。 2 あだちウェルネスカレッジは、パーソナルトレーナーとして第一線で活躍されている講師を招いての講演予定で、60名の申込みを受けていた。今回、中止となったが、テーマへの関心は高かったと推察できるので、次回以降の企画に反映したい。					



「スポーツコンディショニング講座」

※当事業の予算及び執行額はP31の【8】に含む

【9】地域活動支援講座 定款第4条第1項第3号 (1)地域学習・団体活動支援 ①地域学習支援		予定回数/目標人数		実施結果		達成
		2回	60人	1回	42人	○
概要	地域活動に関わる人の学習を支援する講座					
目的	子どもに関わる大人が、それぞれの活動に活かせる知識を習得する。					
実施結果	子ども学講座 I (子どものことを考える大人の勉強会) ～勉強しなさい!は逆効果? 子どもに響く言葉がけ～ 《2日制》9月17日(火)・20日(金) 午前 生涯学習センター 講師:藤後悦子氏(東京未来大学こども心理学部教授)	1回	30人	1回	42人	—
	子ども学講座 II (子どものことを考える大人の勉強会) ～心のサインに気づくためには～ 《2日制》2月25日(火)・3月11日(水) 午前 生涯学習センター 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 講師:須田誠氏(東京未来大学こども心理学部教授、メンタルクリニック心理士)	1回	30人	新型コロナウイルス感染症防止のため中止		
事業評価と課題への対応	<p>1 地域活動等で子どもと関わっている方々を対象に、子どもの発達段階や心理を理解し、課題となる状況の解決のヒントとなるようテーマを設定し開催している。講座では、ワークショップを取り入れ、子どもと接する中で感じる悩みや疑問を話し合い、共感し、アドバイスし合うことにより相互に学び合う機会も創出している。アンケートから「子どもへの声かけには、共感や肯定が大切だと再認識できた」「他の人の意見を聞き、自分自身の活動について振り返りができた」などの感想が多く寄せられた。</p> <p>2 子ども学講座後期分は、子どもの小さなSOSをキャッチし支援するためのポイントを学ぶテーマで、37名の受講予定者があった。中止連絡の際には多くの方から再企画へのご要望をいただいたので、調整して次年度に開催する。</p>					



「子ども学講座 I」



受講生同士での意見交換

※当事業の予算及び執行額はP31の【8】に含む

【10】地域学習コーディネーター事業		予定回数/目標人数		実施結果		達成
定款第4条第1項第3号						
(1)地域学習・団体活動支援		随時		3件		—
①地域学習支援		—		—		—
概要	地域団体等が実施する学習会などの企画相談に応じ、講師紹介等を行う学習活動の相談窓口					
目的	地域での主体的な学習活動の活性化を図る。					
実施結果	(1) 学童保育室指導員研修相談(住区推進課) 研修プログラムと講師紹介 (2) 地域人材育成事業相談(吉川市中央公民館) 活動支援方策の提案 (3) 地域施設イベントの体験教室相談(梅田地域学習センターふれあいまつり実行委員会) おりがみサポーター活動の提案・調整					
事業評価と課題への対応	主催者の事業趣旨を丁寧に聞き、内容や講師、企画についてのアドバイスや内容・講師の提案等を行った。引き続き、効果的な学習活動につながる支援を目指して、企画提案を行っていく。					

【11】読み語りキャラバン隊*によるおはなし会		予算現額		125,000円		
定款第4条第1項第1号		執行額		107,870円		
(1)体験プログラムの提供		予定回数/目標人数		実施結果		達成
①体験プログラム等		5回	250人	5回	445人	◎
概要	地域の施設を巡回し、子どもや親子に読書に親んでもらう機会を提供するイベント型おはなし会					
目的	① 本や言葉に対する子どもの興味関心を高める。 ② 親子や友達と本を介した共有体験を通して、コミュニケーションの機会を創る。					
実施結果	6月24日(月) 午後	1回	50人	1回	46人	—
	会場:学びピア 講堂					
	8月8日(木) 午前	1回	50人	1回	152人	—
	会場:北綾瀬聖華保育園					
	11月12日(火) 午後	1回	50人	1回	105人	—
会場:西保木間保育園						
12月12日(木) 午前	1回	50人	1回	95人	—	
会場:平野保育園						
2月13日(木) 午後	1回	50人	1回	47人	—	
会場:千住スポーツ公園ホール						
事業評価と課題への対応	1 参加者が、一斉に考える・笑う・声を出すなどの同調の機会を盛り込んだ体験型おはなし会を開催し、お話や言葉への興味に繋げる機会とした。このような共有体験は、相互のコミュニケーションを促進する作用が働き、信頼関係を築く上でも大切な機会となり得る。 2 読み語りキャラバン隊は、養成講座で学んだ区民が読み語り実践者として活躍できるしくみの一環でもあり、学びを深めながら広げる活動として、今後も本事業を継続していく。					

* 読み語りキャラバン隊:公社主催「読み読みのためのボイストレーニング講座」修了者有志(ボランティア)により編成

4 広報事業

広報事業 経費	予算現額	8,433,000 円
	執行額	7,981,550 円

【1】公社ニュース「トキメキ」での自主事業等 情報発信 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成	執行額		6,361,350 円		
	発行回数/掲載記事数		実施結果		達成
	12回	40件	12回	40件	◎
概要	公社自主事業や「あだち放課後子ども教室」など受託事業情報を掲載。(取りまとめ・発行は足立区勤労福祉センターゆう、年12回、全戸配布)				
目的	公社事業を広く区民に周知する。				
実施結果	広報計画に基づき、年間事業の情報を掲載した。 〈内訳〉放課後子ども教室 7件(8月号・11月号は1面掲載あり) 学習・スポーツ事業 19件、文化事業 11件(4月号は1面掲載あり)、その他 3件				
事業評価と今後への対応	自主事業、受託事業とも広報計画どおりに掲載した。公社事業の認知度をあげる紙面構成を目指していく。				

【2】公社ホームページによる情報提供事業 定款第4条第1項第1号 (4)学習情報提供 ①公社ニュース・ホームページ等作成	執行額		1,620,200 円		
	予定回数/目標人数		実施結果		達成
	通年	—	通年	—	—
概要	公社自主事業、「あだち放課後子ども教室」など受託事業情報及び公社概要などを掲載。				
目的	公社事業を広く区民に周知する。				
実施結果	1 最新情報に更新した。情報130件更新 〈内容〉トキメキ掲載の募集案内、講座・講習会等の実施案内、放課後子ども教室の実施状況、講座・イベントレポート、平成30年度財務諸表、平成30年度事業報告、公社概要等 2 アクセス数は4月から3月の月平均1,492回 3 トップページのリニューアル、申し込みフォーム、Facebookの設置等の改修を行った。				
事業評価と今後への対応	ホームページは作成以来大きな改定を行ってこなかった。この間IT技術も革新され区をはじめ他機関のホームページは視認性や双方向性などが向上されている。 従来から最新情報の提供のため情報更新を行っていたが、今回リニューアルに伴い視覚効果を高めた情報提供画面の構築、また、画面遷移の簡略化を図るとともに、申し込みフォームやFacebookを導入し区民との双方向性の高めた改修を行った。今後は、この機能を十分活用し、掲載内容の充実と最新情報の提供によるアクセス数のアップを目指していく。				

5 その他

公益目的事業に対する人件費

公益目的事業に対する人件費	予算現額	271,866,000 円
	執行額	252,223,932 円

【1】公益目的事業に対する人件費 定款事業別体系(第1号、第2号、第3号、第5号)	執行額	252,223,932 円
概要	定款第4条第1項事業である「公益目的事業」を実施する職員の人件費	
実施 結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公益目的事業に係る人件費を按分(91%)した。	

その他前号に定める事業に関連する事業

その他前号に定める事業に関連する事業	予算現額	51,403,000 円
	執行額	46,611,508 円

【2】公益財団法人の経営管理、組織・人事管理、財務運営 定款第4条第2項第4号【法人会計】	執行額	46,611,508 円
概要	理事会や評議員会の開催及び庶務事務、基本財産等の安全確実な資産運用及び経理事務等	
実施 結果	「公益財団法人足立区生涯学習振興公社の助成等に関する条例」による区補助金のうち、公社管理運営費及び法人運営に係る人件費を按分(9%)した。	

公益財団法人足立区生涯学習振興公社

令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）事業報告書

作成 公益財団法人足立区生涯学習振興公社

総務部 電話 03-5813-3724